

公共交通の利用促進を図るため、草津市、栗東市、守山市が連携し、小学生の夏休み期間中において、コミュニティバスの運賃無料の対象を「幼児」から「小学生（100円・ICカード90円）」まで拡大、また、幼児2人までの無料対象の人数制限をなくす実証実験を行います。モビリティマネジメントの観点から小学生の皆さんへ公共交通であるバスの乗車機会を通じて慣れ親しんでもらう「きっかけ」づくりを行うとともに、保護者等にも乗車してもらうことで、新規利用者を掘り起こし、公共交通の利用促進、外出機会の創出等を図り、更なる地域公共交通の活性化等に取り組みます。

＜内容＞

「こども」無料乗車実証実験	
開催日	夏季期間 (7月19日～8月30日)
対象者	小学生以下
対象	コミュニティバス
条件	保護者等の同伴



実証実験に併せたイベント

乗車スタンプ(利用促進)

アンケートによる効果調査

質問事項	属性	普段の移動手段
	目的地	外出時の消費額
	利用意向	利用のきっかけ

＜利用方法＞

(大人)

乗車

(小学生以下)

乗車

アンケート回答

降車

降車

運賃無料

運賃収入への影響

小学生の運賃収入はなくなるものの、保護者等からの運賃収入が見込めるため、収益は増加する。

＜周知・啓発＞



- ・広報誌(7月号)
- ・停留所、車内掲載
- ・市ホームページ
- ・SNSの活用(LINE等)
- ・小学校で周知(WEB等)

＜他市事例＞



今後の取り組み(案)

令和7年度

まめバス
くるっと

実証実験

令和8年度

まめバス
くるっと
民間事業者

拡大予定

実証実験の検証・効果

新規利用者の増加

公共交通の利用促進

事業者

自治体

- ・運賃収入の増加
- ・運転手の確保
- ・路線の維持・確保
- ・安定経営

- ・公共交通の活性化
- ・健康づくり
- ・交通渋滞の緩和
- ・外出機会の創出

公共交通・地域の活性化の実現

実証実験の結果をもとに...

幼少期から公共交通に親しんでもらうため、コミュニティバスの無料乗車対象者のあり方等を検討する。

